

## 臨床研究へのご協力をお願い

安藤眼科医院が当地に開業して、はや32年余りを経過しました。おかげさまで多くの皆様の御信頼をいただき、そのお気持ちにこたえるためにもより良い眼科医療を目指す努力を心がけております。

最近の医学の発展は目覚しく、次々と難病の解決に向けた進歩が続いています。山中伸弥教授を中心としたiPS細胞の研究も、眼球を始め、いろいろな組織の再生技術の確立へ向けて着々と進歩を続けているそうです。臨床眼科学の中では、緑内障の多くの治療薬や手術方法の開発により、緑内障による失明者が数十年前と比較して半減したとの報告もあります。これらの医学の進歩は、患者様や研究者からの多くのデータの御提供とその蓄積によって成り立っています。

当院も、多くの患者様を手術、診療しており、臨床データの蓄積により、眼科学の発展に力を添えたいと思っております。そこで、安藤眼科医院に通院して下さる皆様にも、是非臨床研究に御協力を頂き、眼科医療の発展にお力添えを頂きたいようお願い申し上げます。具体的には通常診療で得られる視力や眼圧、眼底所見などの様々なデータ、手術後のデータ、お薬の効果に関するデータ、採血の結果に関するデータ、手術で取り除いた組織に関するデータなどを個人情報の完璧な保護という条件で研究活動に使わせていただきたく存じます。もちろん皆様お一人おひとりにとって一番良いと思われる治療方法を選び、お薬や手術方法を比較するとしてもそれらは確実に安全性が保障されたものを選択いたします。またこれらの研究は当院倫理委員会の承認のもとに行います。個人のお名前や事情を外部に漏らすことは絶対にないことを重ねてお約束いたします。

以上の趣旨をご理解いただき、是非ご協力いただきたくお願い申し上げます。

過去に発表した研究は以下の通りです。

☆ 後発白内障の発生に関する多因子の検討

☆ Statistical analysis of factors affecting the development of posterior capsule opacification

☆ 神奈川県足柄上地区の糖尿病網膜症

☆ 糖尿病網膜症のよりよい管理の試み

☆ 後囊切開率からみた後発白内障

☆ 屈折矯正手術に興味を持った329名

☆ LASIK 導入初期の成績と学習効果

☆ Investigation of visual sense criterion from viewpoint of patients operated for cataract

☆ 小切開水晶体再建術後の眼圧上昇要因およびアプラクロニジンの効果の検討

☆ 小切開水晶体再建術後の眼圧上昇因子の検討 (1)

☆ 小切開水晶体再建術後の眼圧上昇因子の検討 (2)

☆ 白内障術後眼内炎多施設共同研究

☆ Factors influencing intraocular pressure elevation on the first operative day following small-incision cataract surgery

☆ Refractive Lenticule Extraction の可能性

☆ LASIK と ReLex の術後経過の比較

☆ LentisMplus®およびLentisMplus toric72例113眼の経験

☆ エクスプレス®使用緑内障治療用インプラント挿入術の印象

☆ 当院における屈折矯正手術の問題点

☆ 小田原における多焦点眼内レンズの意義

☆ レンティスコンフォートの真価と患者 QOL への貢献

現在(2021年8月)行っている研究は次の通りです。

☆ 多焦点眼内レンズ6種及び低加入度数分節眼内レンズ1種の術後早期視力の比較

☆ 緑内障手術の術後経過

☆ 眼内レンズHOYA Vivinex トリック挿入眼の術後早期の屈折変動

☆ FLACS 手術によって得られた眼球 OCT 画像による眼球形状の解析

協力したくない方は受付にお申し出ください。その方のデータは使用しないようにします。途中で御意思を変えることもできますので、その際もお申し出ください。協力し

たくないというお返事をいただいたとしてもその後の診療は変わりなく行うこともお約束いたします。

